

デジタル技術の発展は、社会全体だけでなく、特に動画制作ビジネスの競争環境に大きな影響を及ぼしています。

まず、デジタル技術の進歩により、動画制作の手法が急速に変化しています。従来のフィルムベースの制作からデジタルベースの制作へと移行し、画質、編集技術、特殊効果など、あらゆる面で以前よりも高品質な映像を作り出すことが可能になりました。また、ドローンや360度カメラなどの新しい撮影装置の登場により、制作可能な映像の範囲も広がりました。

これらのデジタル技術の進歩は、動画制作会社に新たな競争力をもたらすと同時に、競争環境を激化させています。これらの技術を有効に活用できるか、最新の技術トレンドをいち早く取り入れることができるかが、会社の成功を左右する要因の一つになっています。

また、デジタル技術の発展はコスト削減にも繋がります。特に編集やポストプロダクションの作業が効率化され、高価な設備を必要とするフィジカルな作業から、パソコン一台で可能な作業に移行しています。この結果、初期投資が少なくても高品質な映像制作を行うことができ、新たな競争者の参入を促しています。

最後に、インターネットとデジタル技術の組み合わせにより、Wangetは新しいマーケットにアクセスし、自社の制作物を世界中に広めることが容易になりました。これにより、日本の市場だけでなく、グローバルな市場での競争にも挑んでいます。本年はアメリカ市場を中心にビジネス展開を行っていく予定です。

We will continue to pursue both the success of all our stakeholders and our own success.

以上のように、デジタル技術の進歩は、動画制作ビジネスの競争環境を大きく変えています。これらの技術を上手に活用し、変化する市場環境に対応することが、Wangetにとってますます重要になっています。

We and build relationships with our stakeholders that create long-term, sustainable chains of success.

デジタル技術の進化により、Wangetの経営ビジョンとビジネスモデルも大きく変わりつつあります。

まず、経営ビジョンについて。今後の動画制作会社は、単に映像を制作するだけでなく、「ストーリーテリングのエキスパート」としての位置づけを強化することが求められます。デジタル技術が進化することで誰でも手軽に高品質な映像を制作できるようになったため、より一層、独自の視点と創造性が重要になると考えられます。そのため、映像制作の技術を追求するだけでなく、物語を描く力、感動を伝える力を強化することが経営ビジョンとして重要になっていきます。

次にビジネスモデルについて。デジタル技術の発展と共に、新しい収益源を模索する動きが見られます。例えば、動画のストーリーミングサービスと提携し、利用者が制作した映像を有料で配信するというビジネスモデルがあります。また、仮想現実（VR）や拡張現実（AR）といった新しい技術を取り入れた映像制作にも積極的に挑戦し、新たな市場を開拓する必要性もあります。Unreal Factoryという新サービスによりここを積極的に推し進めていく予定です。

さらに、クラウドソーシングやリモートワークの普及により、動画制作のプロセスも変化しています。遠隔地からでもプロジェクトに参加できるため、世界中から優れた才能を集め、高品質な映像制作を行うことが可能になりました。このようなグローバルな協働もWangetの重要なビジネスモデルとしてBuddy'sという新しいサービスを展開しています。

デジタル技術の進歩は、Wangetに新たな可能性とチャンスをもたらしています。しかし、同時にこれまでのビジネスモデルを大きく変える可能性も含んでいます。そのためWangetは常に最新の技術動向を把握し、それを経営ビジョンやビジネスモデルに反映させる柔軟性を持ちながらグローバル展開を行っていきます。

We take pleasure not only in our own successes, but also in the successes of others,  
and build relationships with our stakeholders that create long-term, sustainable chains of success.

デジタル技術の進化に対応し、新たな経営ビジョンやビジネスモデルを実現するためには、以下のような戦略を策定しています。

1. 技術の最前線に立つ：デジタル技術は日進月歩で進化しているため、最新の動向を把握し、必要な技術を速やかに取り入れることが求められます。これを実現するため、技術トレンドのモニタリング、スキルアップのための継続的な教育・トレーニング、新たな技術導入のための投資を積極的に行っていきます。
2. 物語を作り出す力を強化する：デジタル技術が進化することで誰でも高品質な映像を制作できるようになり、制作会社が持つべきは卓越したストーリーテリング能力です。これを実現するためには、スクリプトライティング、編集技術、演出技術など、映像作りの基礎を強化し、独自の視点と創造性を養っていきます。
3. 新しいビジネスモデルを模索する：既存のビジネスモデルに固執するのではなく、新しい収益源を模索する柔軟性が求められます。例えば、仮想現実（VR）や拡張現実（AR）といった新しい技術を取り入れた映像制作にも積極的に挑戦し、新たな市場を開拓する必要性もあります。新たなテクノロジーやトレンドを活用したビジネスモデルを創出することを絶えず行っていきます。
4. グローバルな協働を強化する：クラウドソーシングやリモートワークの普及により、制作プロセスは地域の枠を超えるようになりました。世界中から優れた才能を集め、多様な視点を取り入れることで、より魅力的な映像作りを行うことを重要視しています。

これらの戦略を実現するためには、組織全体での理解と協力が必要です。Wangetは最新の技術動向を把握し、それを経営ビジョンやビジネスモデルに常に反映させていきます。Wanget全体が新たな挑戦を共有し、それぞれが自身の役割を理解し、積極的に参加することで、これらの戦略はよりスピーディーに実現していく体制を構築していきます。

具体的な体制と組織構造の設計について説明します。

最高情報責任者（CIO）として今井峰幸を選任しております。彼の主な役割は、デジタル技術の戦略的な利用を通じてビジネス価値を最大化することです。今井氏は新しい技術の導入、ITインフラの管理、デジタルトランスフォーメーションの進行などを管理、監督します。今井氏のリーダーシップの下、IT戦略は組織全体のビジネス戦略と緊密に連携し、ビジネス目標達成に向けた道筋を示します。

次に、コーポレート部門内に情報セキュリティ部門を設置します。この部門は、組織全体の情報セキュリティを確保し、データ保護とプライバシーのコンプライアンスを担当します。新しいデジタル技術を導入するにあたり、情報セキュリティは絶対に妥協できない要素であり、その確保が信頼とビジネスの成長を支える基盤となります。

また、新たなビジネスモデルの模索やパートナーシップの構築を目指し、ビジネス開発部門を強化します。この部門は新しいビジネスチャンスの発見、新規市場の開拓、パートナーシップの構築などを行い、組織の成長を促進します。

さらに、リモートワークの普及に対応し、グローバルな協働を推進するため、プロジェクト管理部門の役割も重要です。この部門は、遠隔地からのプロジェクト参加者を含むチームのコーディネーションを行い、円滑なコミュニケーションとプロジェクトの進行を確保します。

これらの体制を整えることで、デジタル技術の進化に対応し、Wangetの新たな経営ビジョンとビジネスモデルの実現に向けた戦略を効果的に推進することが可能になります。それぞれの部署が連携を深め、全体として組織のデジタル化とビジネスモデルの変革を推進することで、競争力を維持し、さらなる成長を達成することが期待できます。

and build relationships with our stakeholders that create long-term, sustainable chains of success.